

6 企画振興課

(1) 市町村概要

ア 主要役職員名簿

令和8年4月1日現在

市町村名	市町村長		副市町村長	議長	副議長	議員の任期
	氏名	任期				定数
小諸市 0267-22-1700	こいずみとしひろ 小泉俊博 (3期)	R10.4.18	やなぎさわまなぶ 柳澤学	やまうらとしお 山浦利夫	こばやしかずひこ 小林一彦	R9.1.31 19
佐久市 0267-62-2111	やなぎだせいじ 柳田清二 (5期)	R11.4.23	はたけやまけいじ 畠山啓二	しみずひでさぶろう 清水秀三郎	こばやしとしはる 小林歳春	R11.4.23 24
小海町 0267-92-2525	くろさわひろし 黒澤弘 (3期)	R12.3.25	よしざわきみお 吉澤君雄	しのはらてつお 篠原哲雄	たかのふみのり 鷹野文則	R11.4.30 12
佐久穂町 0267-86-2525	ささきまさる 佐々木勝 (3期)	R11.4.16	まつざわあきひこ 松澤明彦	すだよしあき 須田芳明	たかみざわとしひろ 高見澤利博	R11.4.16 12
川上村 0267-97-2121	ゆいはるひこ 由井明彦 (2期)	R10.2.26	なかじままさや 中嶋昌哉	ゆいひでき 由井秀樹	ゆいもとはる 由井基治	R9.4.30 10
南牧村 0267-96-2211	ありさかよしと 有坂良人 (1期)	R9.11.22	たかみざわすみち 高見澤澄一	よしざわひとし 吉澤均	しずくだよねお 雫田米男	R9.4.30 8
南相木村 0267-78-2121	なかじまのりやす 中島則保 (3期)	R9.12.2	やなぎさわたけし 柳澤猛	よだちゆき 依田千行	いでただかず 井出忠一	R9.4.30 8
北相木村 0267-77-2111	いでとしあき 井出利秋 (2期)	R11.5.19	(欠)	いでとしゆき 井出敏幸	わたなべあきよし 渡邊昭好	R9.4.30 8
軽井沢町 0267-45-8111	つちやみちお 土屋三千夫 (1期)	R9.2.9	うえはらあきお 上原章生 こばやしのぶつぐ 小林信嗣	かわしまさゆり 川島さゆり	さとうみきお 佐藤幹夫	R9.4.29 16
御代田町 0267-32-3111	こぞのひろし 小園拓志 (2期)	R9.2.27	おぎはらはるき 荻原春樹	うちほりきよし 内堀喜代志	いけだるみ 池田るみ	R11.9.20 14
立科町 0267-56-2311	もろずみまさよし 両角正芳 (2期)	R9.4.29	こだいらはるゆき 小平春幸	いまいひであき 今井英昭	むらまつひろよし 村松浩喜	R9.4.29 12

◎ 南佐久郡町村会
会長 中島 南相木村長
副会長 佐々木 佐久穂町長

◎ 南佐久郡町村議会議長会
会長 依田 南相木村議会議長
副会長 井出 北相木村議会議長

◎ 北佐久郡行政連絡協議会
会長 両角 立科町長
副会長 土屋 軽井沢町長

◎ 北佐久郡議会議長連絡協議会
会長 内堀 御代田町議会議長
副会長 川島 軽井沢町議会議長
副会長 今井 立科町議会議長

イ 人口・世帯数（毎月人口異動調査）

人口は、令和8年4月1日現在200,454人で、令和7年4月1日現在と比較すると926人減少しており、県計に対する構成比は10.2%となっています。人口が増加した市町村は、軽井沢町、御代田町の2町村で、その他の9市町村では減少しています。

世帯数は、令和8年4月1日現在87,827世帯で、令和7年4月1日現在と比較すると610世帯増加しており、県計に対する構成比は10.2%となっています。

（令和8年4月1日現在）

市町村名	人 口 (人)					世 帯 数	
	男	女	計	構成比 (%)	R7.4.1 現在との比較		R7.4.1 現在との比較
小 諸 市	19,454	20,424	39,878	19.9	△ 213	17,665	201
佐 久 市	47,236	49,092	96,328	48.1	△ 317	41,800	281
小 海 町	1,976	2,006	3,982	2.0	△ 57	1,816	△ 1
佐久穂町	4,633	4,828	9,461	4.7	△ 134	3,942	9
川 上 村	2,198	1,524	3,722	1.9	△ 173	1,013	△ 117
南 牧 村	1,720	1,314	3,034	1.5	△ 77	1,061	△ 43
南相木村	426	426	852	0.4	△ 28	379	△ 9
北相木村	324	307	631	0.3	△ 26	286	△ 13
軽井沢町	9,494	10,422	19,916	9.9	38	9,545	171
御代田町	8,158	8,429	16,587	8.3	135	7,755	138
立 科 町	3,045	3,018	6,063	3.0	△ 74	2,565	△ 7
管 内 計	98,664	101,790	200,454	100.0	△ 926	87,827	610
県 計	959,504	999,990	1,959,494	—	△ 16,609	862,196	5,540
対県構成比%	10.3	10.2	10.2	—	—	10.2	—

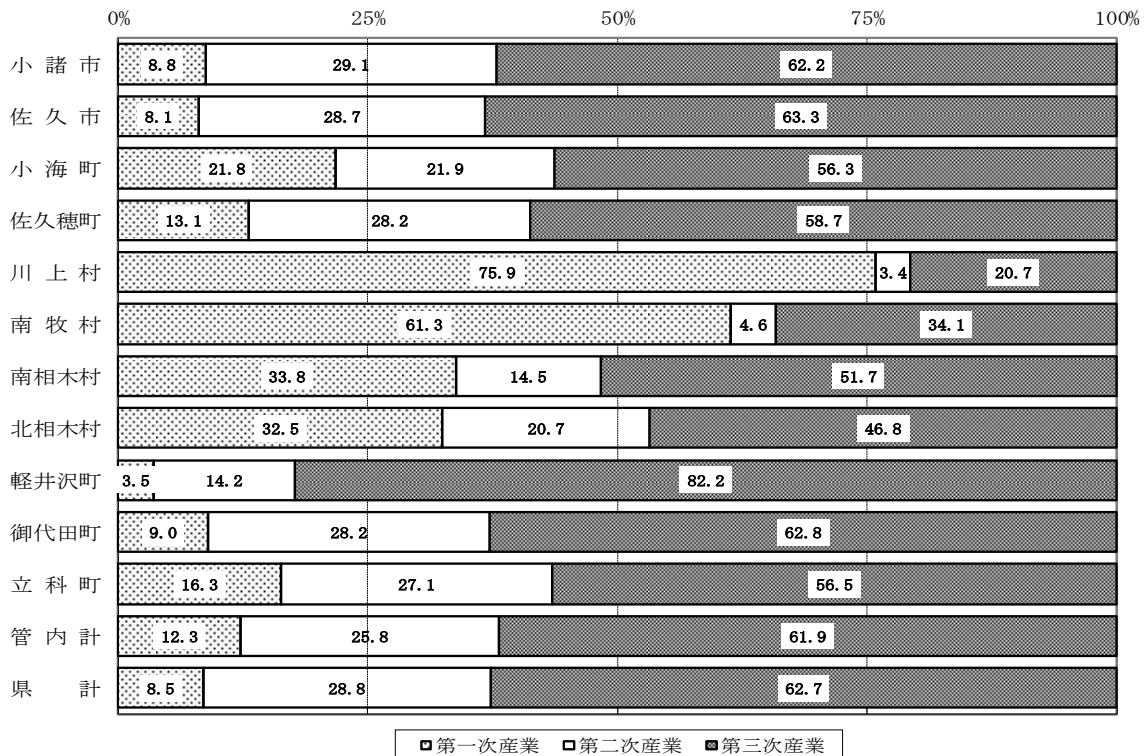
ウ 産業別就業者数

令和2年の国勢調査における管内産業別就業者数は、第1次産業が12,016人(構成比12.3%)、第2次産業が25,234人(同25.8%)、第3次産業が60,506人(同61.9%)となっており、特に川上村、南牧村では第1次産業、軽井沢町では第3次産業の割合が高くなっています。

区分	平成27年10月1日現在 国勢調査					令和2年10月1日現在 国勢調査				
	就業人口	第一次産業	第二次産業	第三次産業	分類不能	就業人口	第一次産業	第二次産業	第三次産業	分類不能
小諸市	21,687	1,975 9.5	6,138 29.6	12,626 60.9	948	19,199	1,651 8.8	5,486 29.1	11,728 62.2	334
佐久市	48,209	4,262 9.0	13,847 29.3	29,128 61.7	972	46,844	3,688 8.1	13,136 28.7	28,987 63.3	1,033
小海町	2,512	570 22.7	547 21.8	1,392 55.5	3	2,291	496 21.8	498 21.9	1,282 56.3	15
佐久穂町	5,728	929 11.5	1,595 24.8	3,158 51.6	46	5,163	656 13.1	1,408 28.2	2,932 58.7	167
川上村	3,277	2,492 76.3	129 3.9	647 19.8	9	3,121	2,360 75.9	106 3.4	645 20.7	10
南牧村	2,196	1,330 60.7	105 4.8	757 34.5	4	2,127	1,290 61.3	97 4.6	718 34.1	22
南相木村	513	185 37.1	82 16.4	232 46.5	14	510	170 33.8	73 14.5	260 51.7	7
北相木村	390	123 32.2	81 21.2	178 46.6	8	378	116 32.5	74 20.7	167 46.8	21
軽井沢町	9,252	306 3.4	1,289 14.4	7,373 82.2	284	8,427	296 3.5	1,186 14.2	6,859 82.2	86
御代田町	7,815	790 10.2	2,312 30.0	4,614 59.8	99	7,827	704 9.0	2,192 28.2	4,889 62.8	42
立科町	3,992	713 17.9	1,067 26.8	2,208 55.4	4	3,632	589 16.3	978 27.1	2,039 56.5	26
管内計	105,571	13,675 13.3	27,192 26.4	62,313 60.4	2,391	99,519	12,016 12.3	25,234 25.8	60,506 61.9	1,763
県計	1,069,860	96,899 9.3	304,510 29.2	643,203 61.6	25,248	1,034,281	86,411 8.5	290,821 28.8	633,501 62.7	23,548
対全県構成比	9.9	14.1	8.9	9.7	9.5	9.6	13.9	8.7	9.6	7.5

(上段は人口で人、下段は割合で%。割合には「分類不能」を含まない。)

○構成比



エ 財政

令和6年度の管内市町村の普通会計の決算規模は、歳入総額が1,372億4,849万7千円、歳出総額が1,300億2,280万円、歳入歳出差引額(形式収支)が72億2,569万7千円の黒字となっています。

管内市町村平均の財政指数は、財政力指数が0.49、実質収支比率が9.3%、実質公債費比率が4.8%、経常収支比率が82.6%で、いずれも県内市町村平均に比べて良好な数値となっています。

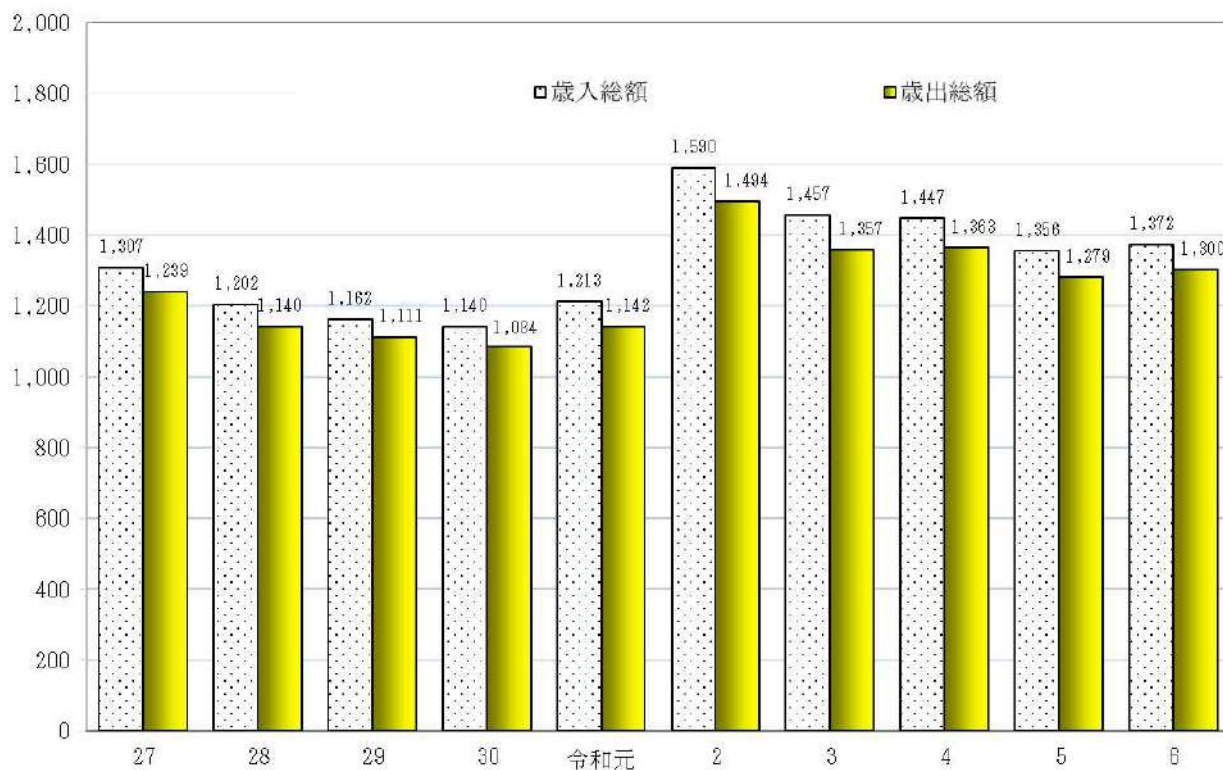
県内で唯一の普通交付税不交付団体である軽井沢町を除いた管内町村平均の財政指数は、財政力指数が0.34、実質収支比率が9.9%、実質公債費比率が5.2%と県内町村平均と比べて良好な数値となっています。一方、経常収支比率は82.9%で県内町村平均と比べてわずかに上回っており、やや硬直的な状況となっています。

(7)令和6年度普通会計（地方財政状況調査）

市町村名	財政状況				財政指標			
	歳入総額	歳出総額	形式収支	実質収支	財政力指数	実質収支比率	実質公債費比率	経常収支比率
	千円	千円	千円	千円		%	%	%
小 諸 市	19,664,969	18,868,245	796,724	658,810	0.58	6.0	7.3	94.8
佐 久 市	52,800,785	51,066,483	1,734,302	1,484,342	0.51	5.0	2.7	86.9
市 計	72,465,754	69,934,728	2,531,026	2,143,152	0.55	5.5	5.0	90.85
小 海 町	4,867,335	4,527,501	339,834	324,811	0.26	12.1	7.4	83.7
佐久穂町	9,624,358	9,014,154	610,204	461,777	0.25	8.6	9.2	85.9
川 上 村	5,126,766	4,939,125	187,641	177,352	0.27	5.5	2.4	79.3
南 牧 村	5,071,989	4,469,566	602,423	530,623	0.28	20.0	3.1	77.6
南相木村	1,939,018	1,901,362	37,656	30,429	0.56	2.4	△ 0.8	82.0
北相木村	1,691,100	1,624,057	67,043	45,295	0.14	4.7	7.8	90.1
軽井沢町	20,760,067	19,207,881	1,552,186	1,397,871	1.60	12.5	0.9	63.1
御代田町	9,297,174	8,640,859	656,315	464,385	0.60	9.9	4.9	78.6
立 科 町	6,404,936	5,763,567	641,369	509,800	0.32	16.1	7.7	86.2
町 村 計	64,782,743	60,088,072	4,694,671	3,942,343	0.48	10.2	4.7	80.7
軽井沢町 除く町村計	44,022,676	40,880,191	3,142,485	2,544,472	0.34	9.9	5.2	82.9
管 内 計	137,248,497	130,022,800	7,225,697	6,085,495	0.49	9.3	4.8	82.6
県町村計	347,587,356	328,211,080	19,376,276	15,408,184	0.32	8.0	7.3	82.5
県市町村計	1,209,606,318	1,165,677,765	43,928,553	34,999,426	0.38	5.4	6.7	88.7
対県構成比	11.3%	11.2%	16.4%	17.4%	—	—	—	—

(イ)歳入歳出決算総額（佐久管内計）の推移

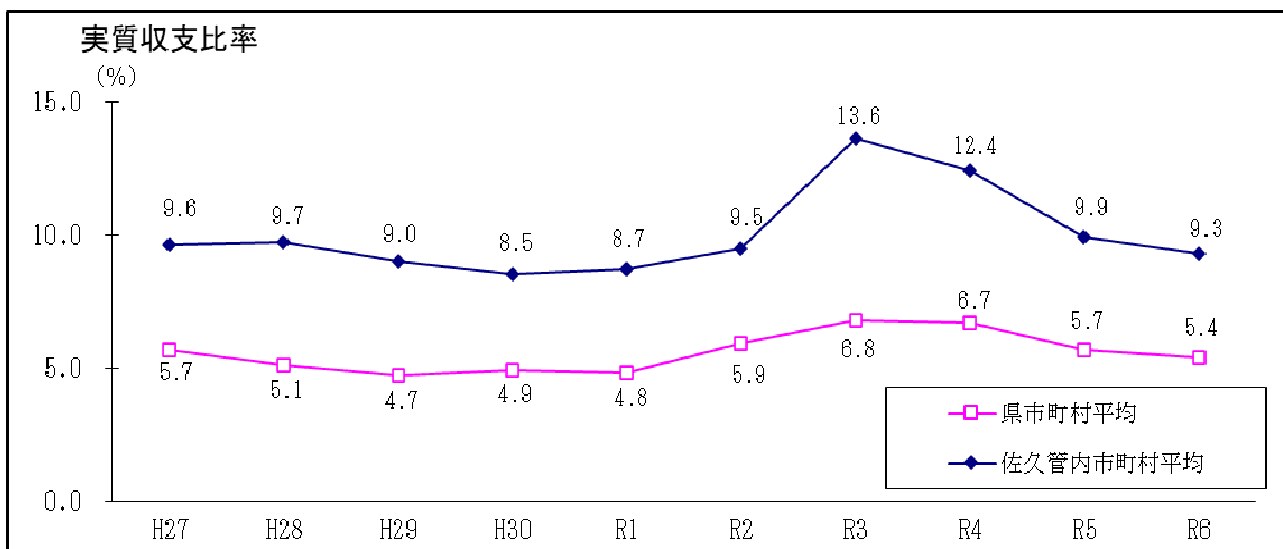
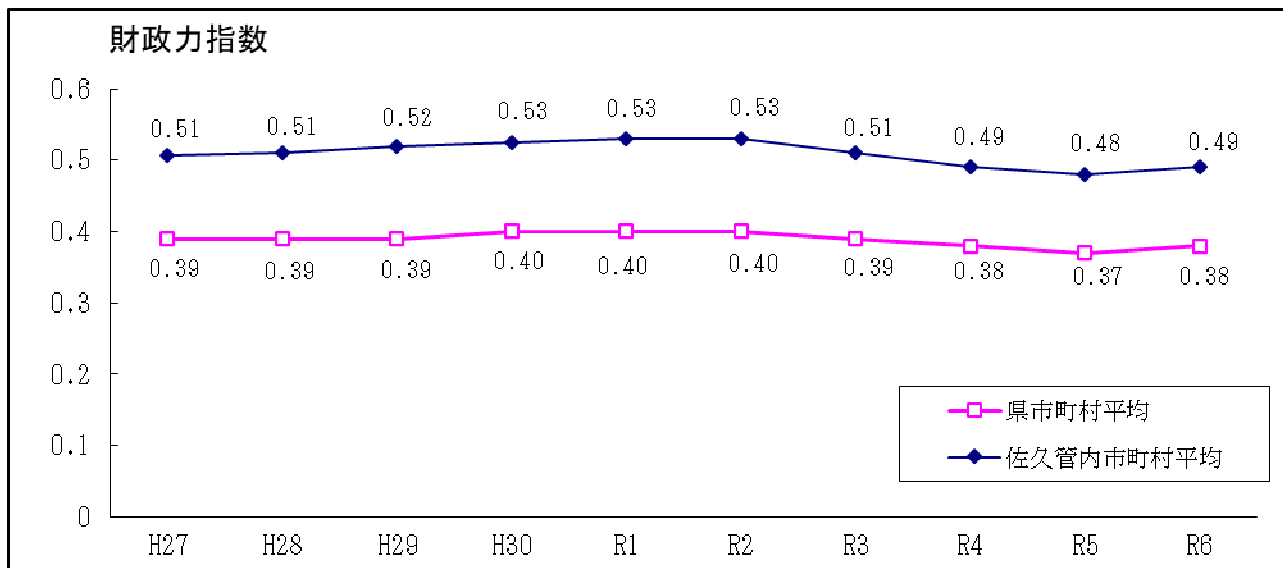
佐久管内市町村の歳入歳出決算額は概ね1,100億円から1,200億円程度で推移してきましたが、令和2年度に1,500億円規模に増大しました。これは、令和元年東日本台風災害と新型コロナウイルス感染症対策による増加であり、その後は徐々に平年ベースに戻りつつあります。



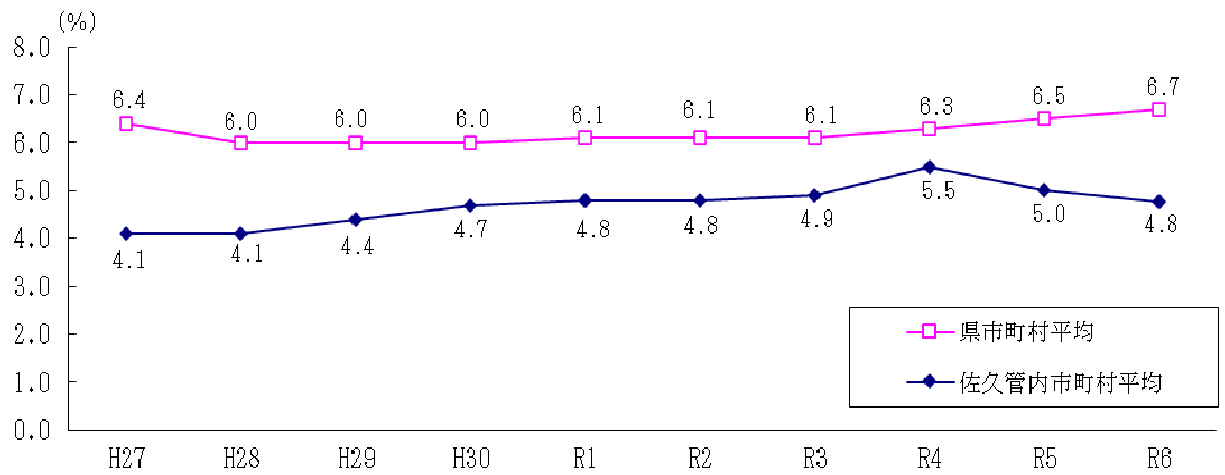
(ウ)財政指標の推移

実質収支比率の推移は、佐久穂町と北相木村で、令和元年東日本台風の災害復旧工事が令和3年度まで継続し、復旧事業費の一部が令和4年度に繰り越されたことで歳出が抑制されました。その結果、実質収支が黒字となり、令和3年度は実質収支比率が上昇しています。

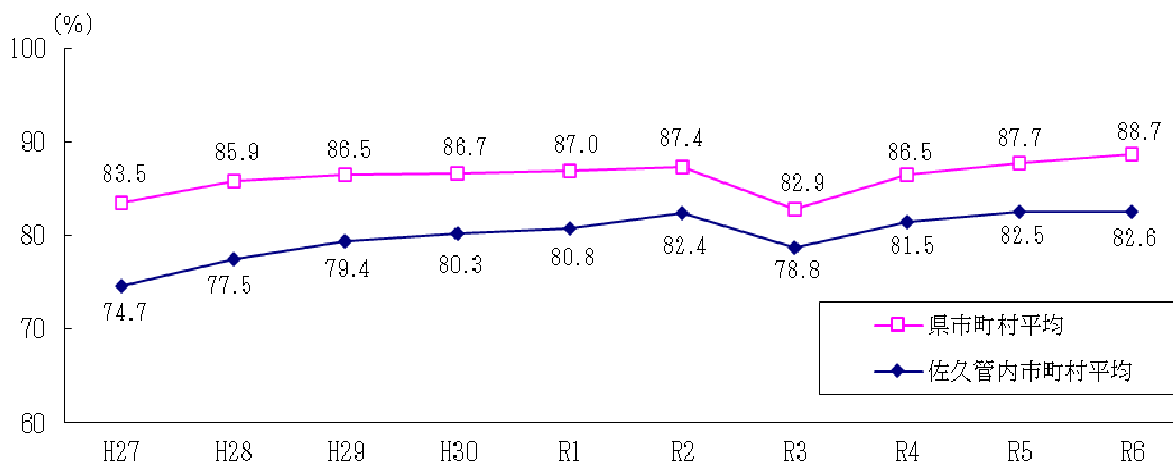
実質公債費比率の推移は、令和4年度は、各市町村における宅地造成や庁舎改修、公共施設整備（防災・住宅等）、道路改良といった事業が重なったため、上昇しています。



実質公債費比率



経常収支比率



(2) 地域振興

ア 地域振興推進費

地域振興推進費は、地域振興局長がリーダーシップを発揮し、管内の現地機関と連携調整を図りながら、地域課題の解決や地域の強みや特性を活かした地域振興に取り組むための予算です。

(7) 令和7年度事業 11事業 実績額 8,098千円

区分	施策（実績額）	主な取組内容
「晴れやかな空の下、心晴れやかに暮らす」確かな生活の基盤づくり		
	健やか佐久プロジェクト ～知ろう！食べよう！体を動かそう！みんなで健康づくり・フレイル予防～ (505千円)	○食育の推進と身体活動・運動習慣の普及のため、関係機関・団体等による連携会議の開催 ○ポールウォーキング体験講座や普及啓発フォーラム開催等による、健康づくり・フレイル予防に向けた取組 ○食生活の見直しやフレイル予防に関する講座を開催し、健康ボランティアを養成
	ゼロカーボンライフスタイル普及事業 (33千円)	○気候変動全般と対策、竹林の状況や影響等について講演会や体験会を実施
「佐久の産業は粒ぞろい」未来につなげる産業づくり		
	佐久平プレメディカルケア産業創出事業 (1,567千円)	○地元企業と医療機関等の連携による新たな製品の試作開発と販路開拓支援 ○「国際福祉機器展」における試作開発品の展示ブース出展、市場調査
	佐久地域農畜産物地消地産推進事業 (367千円)	○市場関係者との地消地産流通体制の確立打合せ、モデル地域の設定 ○宿泊施設に対し、佐久地域産プルーンを提供し、メニューへの利用を促進 ○佐久地域産の農産物の魅力を発信するための勉強会を開催 ○直売所リストを利用した消費者への情報提供や、出荷者への出荷誘導の事例紹介等を行う直売所研修会の開催
	生食プルーンの美味しさを佐久地域から発信！ (1,555千円)	○生食プルーンを活用したメニューを楽しんでもらうスタンプラリーの開催 ○生食プルーン認知度向上の促進のため、広告物の作成、SNS発信
	狩猟者育成のための狩猟体験・魅力発信事業 (899千円)	○若年層の農業・林業従事者や移住者を主な対象とし、有害鳥獣の捕獲体験や、解体を見学・体験する研修会を開催

区分	施策（実績額）	主な取組内容
	佐久地域観光振興事業 （145 千円）	○ブランド化、観光 DX 化、DMO の設立など、目指すべき佐久地域観光振興に向けて連携していくためのワークショップの開催
	東信州特産品 PR 事業 （1,490 千円）	○しなの鉄道観光列車「ろくもん」貸切ツアーを実施し、東信州地域の特産品を提供・PR ○ShinXia（大学生）による「日本酒に興味・関心を持ってもらうにはどうしたらよいか」の企画案の作成
	佐久っとサイクルプロジェクト （213 千円）	○令和 3、4 年度に佐久地域産カラマツ材を使用し設置したサイクルラックのうち、損傷の激しいラックをメンテナンス
「教育が人を呼び込む」首都圏からの利便性と人を活かした地域づくり		
	佐久地域の移住スタイル発信事業 （466 千円）	○地域の特色を活かした首都圏での移住相談会の実施 ○佐久地域の特色を紹介する移住ガイドブックの増刷
	若者向け佐久地域企業 PR ブックの作成 （859 千円）	○地元企業で働く若者のインタビューや、就職活動において若者が重視するポイントを満たす地元企業をまとめて紹介する PR ブックを作成し、旧成人式など、域外へ出た学生が地元に来る機会をとらえて配布

狩猟者育成のためのわな猟体験



しなの鉄道観光列車「ろくもん」で東信州特産品を PR



若者向け佐久地域企業 PR ブック



(イ) 令和8年度事業 7事業 予算額 8,355 千円

区分	施策（予算額）	主な取組内容
「晴れやかな空の下、心晴れやかに暮らす」確かな生活の基盤づくり		
	健やか佐久プロジェクト ～さくさく野菜を食べよう！からだを動かそう！みんなで健康づくり・フレイル予防～ (600 千円)	○食育の推進と身体活動・運動習慣の普及のため、関係機関・団体等による連携会議の開催 ○佐久地域産野菜を使った料理レシピの情報発信や、身体活動向上のために取り組む関係機関・団体等による普及啓発フォーラムの開催等による、健康づくり・フレイル予防に向けた取組 ○食生活の見直しやフレイル予防に関する講座を開催し、健康ボランティアを養成
	若手狩猟者育成事業 (2,015 千円)	○佐久管内の狩猟者を対象に、県有林をフィールドとして、狩猟技術の習得支援や魅力発信を行う研修会を開催 ○研修会参加者が同じ地域の狩猟者との繋がりを持てるようコミュニティを設置
「佐久の産業は粒ぞろい」未来につなげる産業づくり		
	生食ブルーンの美味しさを佐久地域から発信！ (1,646 千円)	○生食ブルーンを活用したメニューを楽しんでもらうスタンプラリーの開催
	佐久平プレメディカルケア産業創出事業 (1,348 千円)	○地元企業と医療機関・介護福祉施設等の連携による新たな製品の試作開発と販路開拓支援 ○「国際福祉機器展」における試作開発品の展示ブース出展、市場調査
	初SAKE 祝杯プロジェクト (450 千円)	○ShinXia（※）から学生に参画してもらい、佐久地域の酒蔵や販売店で日本酒についての学習会や日本酒関係者等との意見交換会を実施 ○学生の企画・運営による「若者が若者に日本酒を伝える」イベント実施 ※信州・長野・佐久大学が連携する地域活性化高度人材育成プログラム
	星降る高原 夜旅のすゝめ事業 (1,800 千円)	○小海線の観光列車「HIGH RAIL 1375」による、初の夜行列車ツアーを2回（8月13日、9月19日）実施し、星空やアクティビティなど佐久地域の魅力の発信と、特産品をPR
「教育が人を呼び込む」首都圏からの利便性と人を活かした地域づくり		
	佐久地域の移住スタイル発信事業 (496 千円)	○地域の特色を活かした首都圏での移住相談会の実施 ○管内市町村や私立学校等と連携し教育移住を推進

イ 地域発 元気づくり支援金

豊かさが実感でき、活力あふれる輝く長野県づくりを進めるため、市町村や公共的団体が住民とともに、自らの知恵と工夫により自主的、主体的に取り組む地域の元気を生み出すモデル的で発展性のある事業に対して、支援金を交付しています。

事業区分	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	事業数 (件)	支援金額 (千円)	事業数 (件)	支援金額 (千円)	事業数 (件)	支援金額 (千円)
1 地域協働の推進	6	14,777	4	9,112	2	7,131
2 保健、医療、福祉の充実	5	10,321	4	4,585	2	7,532
3 教育、文化の振興	2	5,759	3	5,014	7	12,404
4 安全・安心な地域づくり	2	6,292	1	4,840	0	0
5 環境保全、景観形成	8	9,730	7	9,547	2	1,909
6 産業振興、雇用拡大(小計)	13	27,406	15	30,209	17	38,886
特色ある観光地づくり	(3)	(8,168)	(7)	(10,391)	(10)	(16,586)
農業の振興と農山村づくり	(3)	(4,423)	(2)	(3,041)	(3)	(9,532)
森林づくりと林業の振興	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
商業の振興	(1)	(428)	(1)	(447)	(1)	(4,121)
その他	(6)	(14,387)	(5)	(16,330)	(3)	(8,647)
7 市町村合併に伴う地域の連携の推進	0	0	0	0	0	0
8 その他地域の元気を生み出す地域づくり	2	4,261	3	4,393	2	1,602
合 計	38	78,546	37	67,700	32	69,464

(再掲) 実施主体別

実施主体区分	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	事業数 (件)	支援金額 (千円)	事業数 (件)	支援金額 (千円)	事業数 (件)	支援金額 (千円)
市 町 村	8	19,568	6	18,915	6	16,675
広域連合・一部事務組合	1	1,945	2	2,212	1	725
公 共 的 団 体	29	57,033	29	46,573	25	52,064
合 計	38	78,546	37	67,700	32	69,464

ウ 移住

佐久地域は県内で最も移住者の多い地域で、移住・定住、つながり人口の増加に向けた取組を推進しています。

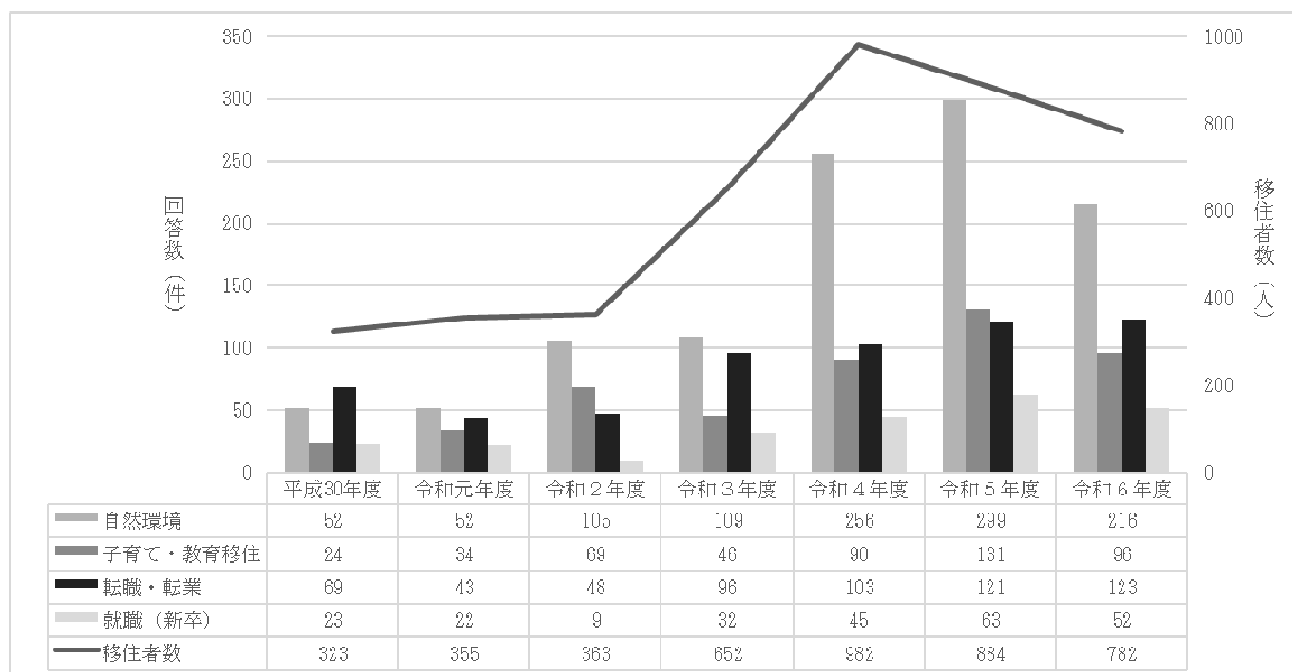
佐久地域への移住者は令和3年度から増加し、令和4年度には982人（令和2年度の約2.7倍）に達しました。これはコロナ禍と同時期で、リモートワークの推進などにより地方暮らしが見直され、移住者の増加につながったものと考えられます。

移住理由の内訳を見ると、令和元年度以降は「自然環境」が最も多く、令和6年度では全体の27.6%を占めています。

佐久地域で推進している「子育て・教育移住」は、「自然環境」「転職・転業」に次ぐ3位に位置することが多く、令和4年度以降は90件を超えている状況です。

「子育て・教育移住」が増加傾向にある理由の一つとして、佐久地域には特色ある教育を実践する学校が複数開校していることが挙げられます。

佐久地域への移住者数及び移住理由の推移



上記の表は、企画振興部地域振興課信州暮らし推進係が調査を行っている「移住者補足アンケート及び行政サポートによる市町村別移住者数」の数値を基に作成しています。

首都圏での移住相談会

